

〔第29回〕

NCGG-Ri 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

唾液腺の老化

老化機構研究部 代謝研究室

山越 貴水 室長

2018年5月8日(火) 16時00分～

第1研究棟2階大会議室

唾液は口腔内の機能や全身の機能に非常に重要な役割を果たしている。しかし、多くの高齢者において、唾液分泌量の減少や唾液の粘性亢進などが観察され、口腔内が乾燥する口腔乾燥症状を示す。口腔乾燥は口腔衛生を悪化させ、う歯や歯周病などの口腔疾患を生じさせるだけでなく、感染症や誤嚥性肺炎などの発症リスクを高め全身に影響を及ぼす。このため、口腔乾燥症状の原因を明らかにしていくことが高齢者の健康長寿を実現するうえで非常に重要である。

唾液を分泌する唾液腺の一つに顎下腺がある。私達は、モデル動物としてマウスを用い、顎下腺において産生される粘性物質の老化による変化について解析を行ってきた。本セミナーでは、これまでの成果について紹介したい。

座長：下田 修義

連絡先：副所長室(内線5002)